取扱説明書

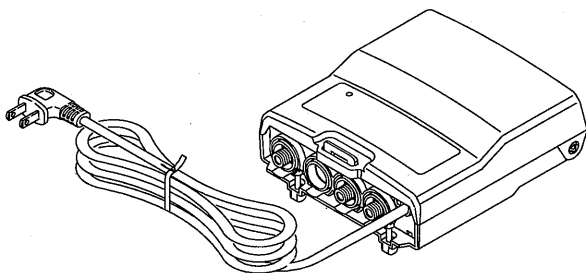
保証書付
（裏表紙の下側が保証書になっています。）

CATVブースタ（電源分離可能型）

770MHz双方向CATV

EPS729RA（電源部PSD1520SP内蔵）

ご使用の前に、必ずこの「**取扱説明書**」と別紙の「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
わからないことや故障したときにもお役立ていただくために**取扱説明書・保証書**は大切に保管してください。

◆外　観

付属品

- ケーブル防水キャップ（２ヶ）
- Ｆ形接栓：FP-5（４ヶ）
- 木ネジ：長さ20mm（1ヶ）、長さ13mm（2ヶ）

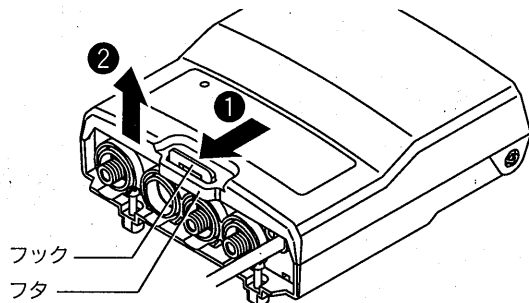
※１箱10台入りのビニールパック簡素梱包品には、ケーブル防水キャップとＦ形接栓は付属していません。別売となります。

◆特　長

- 本器はCATVインターネットに適した双方向増幅型のブースタです。
- 本器は電源分離可能型です。
  電源を内蔵したまま使用できるほか、電源部を取り出して離れた場所から本体に重畳送電して使用することができます。この場合、工具を使わないで簡単に電源部を取り出すことができます。
- 本体は屋外・屋内共用です。本体は壁面取り付けのほか、市販のステンレスバンド等でマストに取り付けることも可能です。（電源部は、本体から分離した状態では、屋内専用です。）
- 上り帯域は10〜60MHzと15〜60MHzに切換えできるほか、上り信号をカットできます。
- 下りスロープスイッチにより、伝送ケーブルの損失によるレベル差を補正できます。
- 本体カバーを開けること無く、電源パイロットランプにて動作状況を確認できます。

◆使用上のご注意

- 本器には専用電源部：PSD1520SP以外は使用できません。U/Vホーム共聴で使用していた電源部がある場合は、CATV接続する前に必ず外してください。
- 電源部：PSD1520SPは本器専用です。BSコンバータなど、他の機器の電源として使用することはできません。
- 本器は、UVブースタとして使用することはできません。
- 電源部を本体から分離して使用する場合、本体と電源部を接続する同軸ケーブルには電流が流れます。
  同軸ケーブルまたは同軸ケーブルの接続部がショートしないよう、ご注意ください。
- ブースタ本体と電源部間をケーブル接続しない状態で、電源部単体の出力電圧（無負荷電圧）を測定するとDC+25V前後の値を示しますが、故障ではありません。
  ブースタ本体と電源部間を正しくケーブル接続すると、電源部は適正な出力電圧を示します。

◆本体フタの開けかた

❶フックを矢印の方向に押して、ロックを解除します。
❷この状態で、フタを矢印の方向に開けてください。
- フタはいっぱいまで開くと開放状態を保持します。

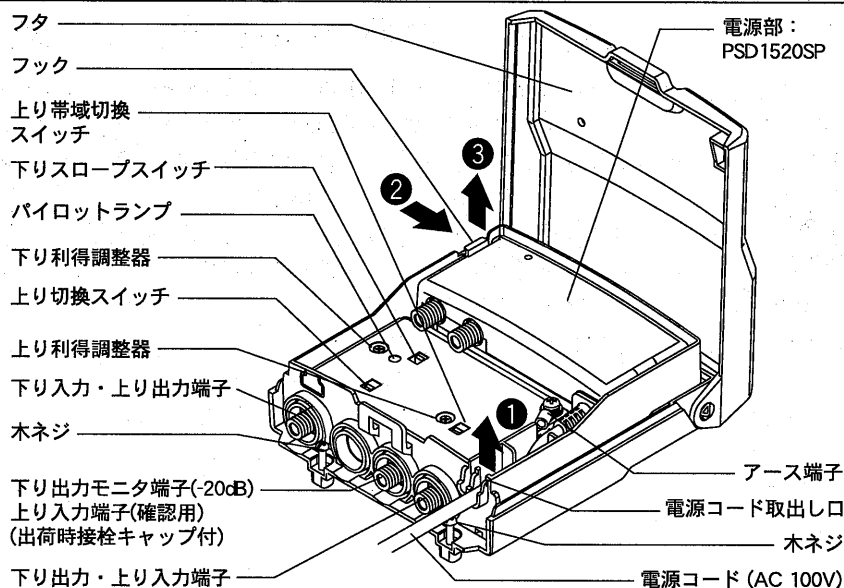
⚠警告

- 本体のフタは作業後、確実に閉めてください。雨水などの浸入により、火災・感電の原因になります。

⚠注意

- フタの開閉時、電源部の着脱時、無理な力を加えないでください。ケースが破損して、火災・感電・機器の故障の原因になります。
- お手入れのさい、ベンジン・シンナーなどの溶剤は使わないでください。プラスチックケースが変質し、故障の原因になります。

八木アンテナ株式会社

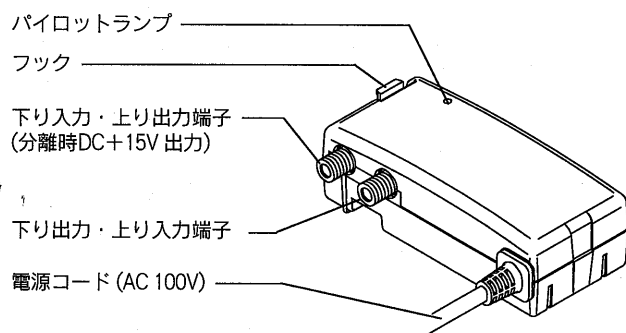
◆各部の名称と電源部の外しかた

電源部の外しかた

❶電源コード取出し口から、電源コードを矢印の方向に引き抜いて下さい。

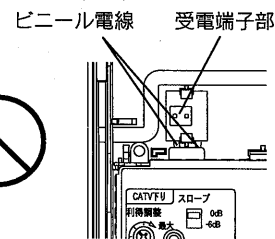
❷電源部のフックを矢印の方向に押して、ロックを解除してください。

❸フックを押した状態で矢印の方向に引き上げ、ある程度引き上げてから電源部を持ち、ケースより引き抜いてください。

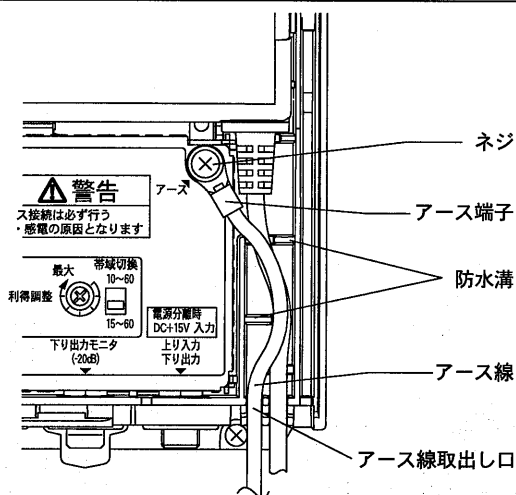
※電源部を再度装着する場合は、電源部をケースと平行の状態で、フックのロック音がするまで押し込み、電源コード取出し口に電源コードを押し込んでください。

電源部：PSD1520SP（屋内専用）

※図は本体から分離した状態です。

⚠警告

● 電源部を分離して使用する場合、本体内部の受電端子部とビニール電線はいじったり、引っ張ったりしないでください。ショートして火災・機器の破損の原因になります。

⚠注意

● 電源プラグは配線工事がすべて終了してからACコンセントへ接続してください。感電の原因になることがあります。

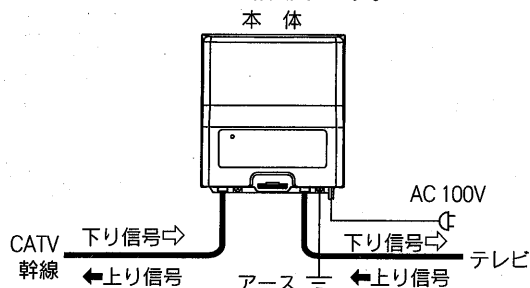
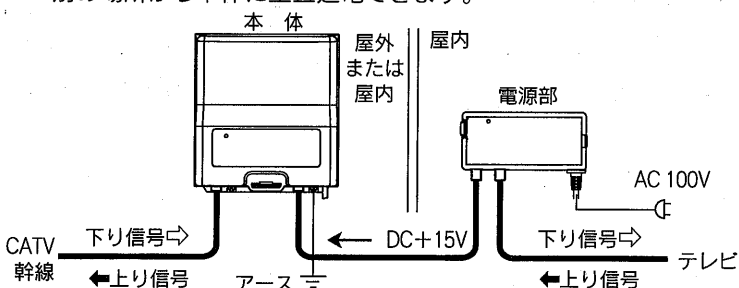
◆アースの接続方法

① ネジをゆるめて、アース端子をはずしてください。
② アース線先端の被覆をはがしてください。
③ アース端子にアース線をかしめてください。
④ アース端子をネジで固定してください。
⑤ アース線を防水溝にそわせて、アース線取出し口に押し込んでください。

アース線は直径1.6mmの軟銅線をご使用ください。

⚠警告

● アース接続は必ず行ってください。またアース接続は本器単独で行ってください。ショートや落雷により、火災・感電の原因になります。

◆使用例

● 電源部を内蔵して使う場合
直接本体にAC 100Vを給電します。

● 電源部を分離して使う場合
別の場所から本体に重畳送電できます。

◆同軸ケーブルの端末加工方法

- 本体を屋外に設置する場合、ケーブル防水キャップを同軸ケーブルの太さに合せて切断し、あらかじめ同軸ケーブルに通しておいてください。

- F形接栓：FP-5は5Cケーブル用です。

①ケーブルを図のように加工してください。

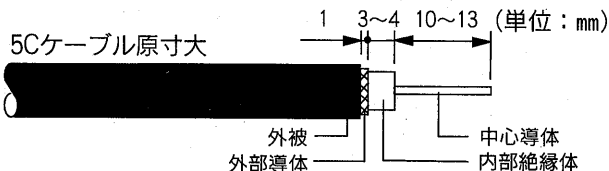
5Cケーブル原寸大　1　3～4　10～13（単位：mm）

外被
外部導体
中心導体
内部絶縁体

②ケーブルにリングを通し、FP-5接栓を内部絶縁体と外部導体（編組線）の間に押し込んでください。外部導体はあらかじめカッターナイフの先端などで折り返しておいてください。

③リングをペンチで圧着し、FP-5接栓がケーブルから抜けないようにしてください。

④中心導体をニッパーなどで図の寸法に切断して完成です。

ご注意
芯線が長すぎると機器の端子が破損します。先端は必ず0～1mmに切断してください。

※1箱10台入りのビニールパック簡素梱包品には、F形接栓（FP-5）は付属していません。別売となります。

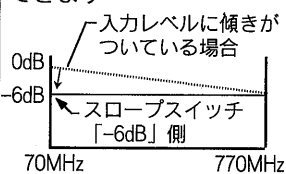
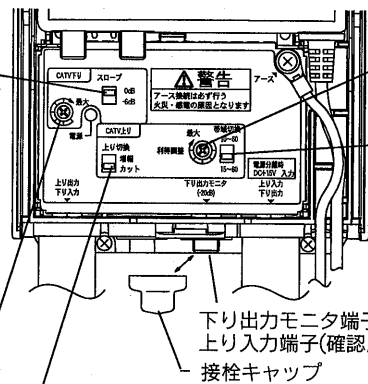
ご注意
- F形接栓を機器に取り付けるときは、2～3N·m（約20～30kgf·cm）のトルクで締め付けてください。

⚠注意
- 本体を屋外に設置する場合、必ず本体の同軸ケーブル取り付け部にはケーブル防水キャップを取り付けてください。雨水などの浸入により、火災・感電の原因になります。

◆調整方法について

下りスロープスイッチ
入力レベルに傾きがついている場合、70MHzにおけるレベルを-6dB補正できます

入力レベルに傾きがついている場合
0dB
-6dB
スロープスイッチ「-6dB」側
70MHz　770MHz

下り利得調整器
反時計方向に回すと出力レベルが0～-10dBの範囲で連続に可変します。

下り出力モニタ端子
上り入力端子(確認用)
接栓キャップ

上り切換スイッチ
双方向伝送の場合は「増幅」側、下り方向のみの使用や上り信号をカットしたい場合は「カット」側にしてください。

上り利得調整器
反時計方向に回すと出力レベルが0～-10dBの範囲で連続に可変します。

上り帯域切換スイッチ
上り帯域増幅時、10～60MHzの運用では「10～60」側、15～60MHzの運用では「15～60」側にして下さい

- 下り出力モニタ端子により、レベルを確認しながら調整を行ってください。モニタ端子レベルは-20dBです。
  下り信号の出力端子レベルは測定値に20dB加えた値になります。
- 下り信号の出力レベルは95dBμ（74波）以下、上り信号の出力レベルは113dBμ（2波）以下として下さい。定格出力レベルを超えて運用すると機器の故障の原因となります。
- 上り入力端子（確認用）に上りチェック信号を入力することにより、センターにてCATVシステムにおける上り信号の通過確認が行えます。
  (上り切換スイッチは「増幅」側にしてください。)

⚠注意
- 下り信号の入力レベルは66dBμ程度、上り信号の入力レベルは95dBμ程度としてください。過入力の場合、機器の破損の原因になります。
- 本体を屋外に設置する場合、モニタ端子には必ず接栓キャップを取り付けてください。雨水などの浸入により、火災・感電の原因になります。

出荷時の設定

・下り利得調整器	：	「最大」位置
・下りスロープスイッチ	：	「0dB」側
・上り切換スイッチ	：	「カット」側
・上り利得調整器	：	「最大」位置
・上り帯域切換スイッチ	：	「15～60」側

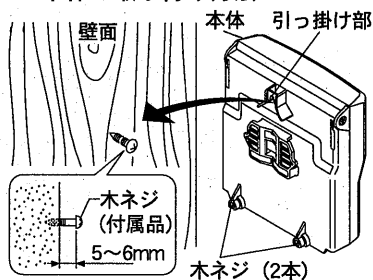
<無料修理規定>

1．お買い上げの日から1年間、取扱説明書、製品自体に表示した注意書きなどに従った正常な使用状態において、万一故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2．無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または直接弊社にお申しつけください。
3．ご転居やご贈答品などで、本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、直接弊社にご連絡ください。
4．保証期間内でも次の場合には、原則として有料とさせていただきます。
　(イ) 施工・使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
　(ロ) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
　(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源などによる故障および損傷。
　(ニ) 車両および船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷。
　(ホ) 本書のご提示がない場合。
　(ヘ) 本書の、お買い上げ年月日、お客様、販売店の各欄に記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※　この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合には、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
※　This warranty is valid only in Japan.

故障内容：機器改良にも役立ちますので必ずご記入ください。

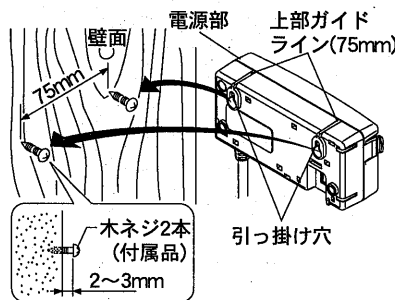
◆取り付け方法

● 本体の取り付け方法

壁面取り付け方法

①付属の木ネジ（長さ20mm）を壁面に取り付け、本体上部を引っ掛けてください。
②本体に備え付けの２本の木ネジでしっかりと固定してください。

※本体をマストに取り付けて使用する場合は、幅5mmのステンレスバンド（市販品）等を使用してください。
（適合マスト径：φ25～φ50）

● 電源部の取り付け方法

電源部は据え置きのほか、壁面に取り付けることもできます。

壁面取り付け方法

①付属の木ネジ（長さ15mm）2本を上部ガイドラインに合わせて壁面に取り付けてください。
②ケーブル取付面を下側にして、木ネジに引っ掛け穴を引っ掛けてください。

75mm（実寸）

⚠警告

● 機器の質量（重量）に耐えられる場所に設置してください。落下により、ケガ・機器の破損の原因になります。

◆標準仕様

● 本　体

項　目	上り		下り		
周波数帯域 (MHz)	10～60		70～770		
伝送容量 (ch)	1	2	30	57	74
定格出力 ※1 (dBμ)	120	113	100	97	95
利得 (dB)	15～19		25～32		
利得調整範囲 (dB)	0～-10		0～-10		
スロープ調整 (dB)	−		0，-6		
入出力インピーダンス (Ω)	75（F形接栓）				
使用温度範囲 (℃)	-20～+40				
電源電圧	電源内蔵時：AC 100V (50/60Hz) 電源重畳時：DC+15V (PSD1520SP使用)				
寸法 (mm)	145（高さ）×133（幅）×58（奥行）				
質量 (g)	680（電源内蔵時）				
上り帯域切換機能	10～60MHz／15～60MHz／片方向　※2		−		

※１　550～770MHz　-10dB運用（デジタル信号）
※２　スイッチ切換（片方向時：上り出力終端）

● 電源部：PSD1520SP

項　目	仕　様
周波数帯域 (MHz)	10～770
入出力インピーダンス (Ω)	75（F形接栓）
通過損失 (dB)	1.5以下
出力電圧・電流	DC+15V・0.2A
電源・消費電力	AC 100V (50/60Hz)・6W
寸法 (mm)	39（高さ）×117（幅）×63（奥行）
質量 (g)	330

● この製品は今後改良・性能向上のため、形状及び特性を変更することがあります。

八木アンテナ株式会社
〒337-8502　埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1406
http://www.yagi-antenna.co.jp

■ 製品に関するお問い合せ ■
048-687-8198
ご利用時間（土・日・祝日・弊社休業日を除く）
9:00～12:00　13:00～17:00

3GBG327A0-06.02